

開催月日 : 平成26年8月21日

平成26年度第2回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議

時 間	am / (pm) 03:00 ~ am / (pm) 04:00	場 所	グッドライフケア港支店
司 会	鈴木 直美	書 記	流 奈津美
出席者	麻布地区高齢者相談センター : 主任介護支援専門員 1名		
	民生委員 : 1名		
	居宅事業所 : 介護支援専門員 3名		
	グッドライフケア訪問看護ステーション千代田 : 管理者 鈴木 直美		
	グッドライフケア24 : 統括 濱崎 友子		
	グッドライフケア24 : 管理者 山本 祐		
会議内容	グッドライフケア24 : 計画作成責任者 石川 智也		
	グッドライフケア24 : 訪問介護員 眞壁 知伸		
	1. 開会挨拶 グッドライフケア訪問看護ステーション千代田 鈴木 直美		
	2. 参加者紹介 それぞれ自己紹介していただく		
	3. 26年6月～26年7月までのサービス提供状況報告 グッドライフケア24 管理者 山本 祐		
	4. 意見交換		
	5. 閉会の挨拶 グッドライフケア24 統括 濱崎友子		

詳 細
2. 参加者紹介
出席者参照
3. サービス提供状況報告
サービス開始から本日までの利用者の状況の報告(別紙参照)
サービスの提供状況の報告
4. 意見交換
・1のK様はどこの方?、地域のつながりはないのですか?
→退院後引越してこられ、地域とのつながりはない。
・民生員・児童員が区のもので。と行けば話がスムーズに行く場合もあるのではないか?
6のK様は地域にずっと住んでいる方で気兼ねなく訪問でき、スムーズに行くこともできる。

地域の方にも声を掛け、見守っていくという声掛けもできるのでは。
1のK様が生活保護を受けていれば民生員も把握しているはず。
今後事業所との連携が必要になってくるのでは？地区の民生会議で提案をしてみる。
・5のS様は入院して処置したほうがいいのか？
→病院と看護師との折り合いが悪く、自分の生活にこだわりがある。
ご友人や不動産の方、ケアマネジャーに協力いただいて在宅で生活ができています。
・一人暮らしの方のところに訪問をしているのですが、民生員と関わりはないのですか？
→ご友人や不動産の方が対応していただいている。
・ご友人などが対応していると、近所の方が声を掛けたくても掛けられない状態になっているかもしれないので、民生員が関わっていれば見守りはできるのではないかと。
・6のK様はこの地域だからグッドライフケアに割り当てられたのですか？経緯は？
→麻布のふれあい相談室から高齢者相談センター、そこから丸山様のところに話しがきた。
ご本人様が認知症はあるが意思表示がある方で、なかなか介入できずふれあい相談室の方や高齢者相談室の方が定期的にお声掛けしていただいております、またご近所の方も見守ってくださり上手く関わってくださった。
サービスもいろいろ想定していたが上手く行かなかったが、差し入れを持っていったら受け取ってくださった。その為、食事をもっていったり安否確認の為なら受け入れてくださるのではないかと一歩ご自宅に近いグッドライフケアをお願いした。
・サービスを使ってみて何か気付いたことやこういうふうにしてほしかったなどご要望はありますか？
→要介護度が決まっていなかった段階でかかわっていただき、「明日きてもらわないと。」という状態でした。話し合いでは普通の訪問介護の予定だったが状態を聞いていただいて「定期巡回のほうがいいですね。」となり本人の為にもよかったのかな。と思いました。
看護師さんから先生も紹介していただいて、医療も受けられた。訪問看護も医療で入っていただいて手厚いサービスができてよかった。
→即日対応していただいたし、いなくても時間を作ってまた行って頂ける、家の中に入れられない状態のお家だったので、そういう点ではよかった。
このように使えるのかというのがわかったので、今後もいらっしゃったらお願いします。
・今夜間に入らせていただいておりますが、体制は大丈夫ですか？
→女性はあまり行けないので、希望があっても男性でお願いしている状態。
・夜間は女性は避けていますとのことですが、危機管理の為ですか？
→それもありますが、女性は夜遅くまで働ける方が少ないので、男性になってしまう。利用者様にして見ればそんなことは関係ないが決まった人を毎回遅くまで残ってもらうわけにはいかない。
・定期巡回の男性社員が多いような気がするのですが、定期巡回は男性スタッフ、訪問介護に女性スタッフが流れてしまっているのか、女性が入れるような体制を作っていけば安心して入れるケースが増えるのではないのでしょうか。

